

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			0..*	Coding		表現したいコンセプトのコード記述。 繰り返しにより複数のコード体系によるコーディングで記述できる。
n.1.1			system		1..1	uri	“http:.....”	コード体系。
n.1.2			code		1..1	code	“B0EF”	コード。
n.1.3			display		0..1	string	“持続腹痛”	コード体系におけるコードに対応するの表示名
n.2		text			0..1	string	“長く続く腹部の痛み”	表現したいコンセプトのテキスト記述

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。値の欄は、4 つの行(子要素)に使う値を列挙するが、省略することもある。多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 0..*	CodeableConcept	“http:.....” “00” “持続腹痛” “長く続く腹部の痛み”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	---	----

なお、coding の多重度の最小値が 0 (すなわち省略可能) の場合には、コードによる記述をせず、以下のようにテキストだけで記述することも許されている。

表 Immunization リソース ワクチン接種情報

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
1	resourceType						“Immunization”	<b>Immunization</b> リソースであることを示す
2	text				0..1	Narrative		本リソースをテキストで表現したものを入れてもよい。
2.1		status			1..1	code	“generated”	固定値。テキスト内容の全てがリソースのコンテンツから生成されたことを示す。
2.2		div			1..1	xhtml	<div xmlns=“http://www.w3.org/1999/xhtml”>xxx</div>	値は例示。
3	identifier				0..1	Identifier		このワクチン接種情報に付番された ID

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
3.1		system			1..1		"urn:oid:..."	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
3.2		value			1..1		"2020-10-002933"	ワクチン接種情報 ID の文字列。値は例示。
3	status				1..1	code	"final"	ワクチン接種情報のステータス。 コード表: "http://hl7.org/fhir/event-status"  preparation   in-progress   not-done   on-hold   stopped   completed   entered-in-error   unknown 準備中 進行中 未完了 保留中 停止 完了 エラー 不明
	statusReason				0..1	CodeableConcept		ステータス事由。 当面、text でのみ記述する。
	vaccineCode				1..1	CodeableConcept	" urn:oid:1.2.36.1.2001.1005.17" "MMR II" "麻疹＋風疹＋ムンプスワクチン II"	ワクチンコード。 "http://hl7.org/fhir/sid/cvx" または" urn:oid:1.2.36.1.2001.1005.17" より。 コード表 http://hl7.org/fhir/valueset-vaccine-code.html 参照。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
11	patient				1..1	Reference(Patient)		患者を表す <b>Patient</b> リソースへの参照。
	encounter				0..1	Reference(Encounter)		検査・観察が実施された受診情報（外来受診情報または入院詳細情報）
	(occurrence)				1..1			ワクチン接種が実施された（される予定だった、または予定の）時期。次の 2 通りのいずれかの要素のひとつを選択して、それにより記述する。複数を選択はできない。occurrence 要素は記述しない。
		occurrence DateTime			0..1	dateTime		日時
		occurrence String			0..1	string		時期を文字列で記述。
	recoreded				0..1	dateTime		ワクチン接種をこの患者の記録として最初に記録した日付。
	primarySource				0..1	boolean		この接種情報が患者から根拠ある記録として得られたオリジナル情報であれば true。
	reportOrigin				0..1	CodeableConcept	” http://terminology.hl7.org/CodeSystem/immunization-origin” ”	二次的な報告書から得られた情報の場合にその元情報区分。 provider :他の医療者 record :記録文書 recall :患者を含む関係者の記憶

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
								school :学校での記録 jurisdiction :記録管理システム
	location				0..1	Reference(Location)		接種した場所情報への参照。
	manufacturer				0..1	Reference(Organization)		製造会社情報への参照。
	lotNumber				0..1	string		ロット番号。
	expirationDate				0..1	date		使用有効期限。
	site				0..1	CodeableConcept	” http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-ActSite”	身体の接種部位。 LA:左腕 RA:右腕 BU:臀部
	route				0..1	CodeableConcept	” http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-RouteOfAdministration”	接種経路。 IDINJ:皮内注射 IM:筋肉内注射 NASINHLC:経鼻吸入 IVINJ:静脈注射 PO:口腔飲用 SQ:皮下注射 TRNSDERM:経皮吸収

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	doseQuantity				0..1	SimpleQuantity		ワクチン摂取量。
	performer				0..*	BackboneElement		実施した人の情報。
		actor			1..1	Reference(Practitioner   PractitionerRole   Organization   Device)		実施した人への参照。
	note				0..*	Annotation		追加的な叙述的記述。
	reaction				0..1	BackboneElement		摂取後の副反応の情報。
		date			0..1	dateTime		副反応が始まった日時。
		detail			0..1	Reference(Observation)		副反応の所見詳細
		reported			0..1	boolean		患者自身による報告のとき true。